

平成26年4月23日

プロジェクト報告書

団体名 国立市観光まちづくり協会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

春うらら：国立・立川さくらウォーキング

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

国立市、及び立川市の魅力の一つである「さくら」を愛でながらのウォーキング
平坦な道のり約7.5km、2時間のコースで、老若男女が手軽に参加出来る
イベントで、コースの途中、いろいろな「おもてなし」を加え、楽しんで
頂ける内容の企画

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

当初、国立独自のイベントとして計画(応募時)したか、計画中途にて
立川観光協会より、ジョイント要請があり、出発場所を2ヶ所に設定
(国立発と立川発)コース途中で両コースが合流、ゴールは当初どおり
国立とし、いろいろな「おもてなし」を楽しんで頂く。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

其一、さくらが散ってしまっても、ウォーキングが楽しめるよう工夫をした。
既ち、古民家での「フルーツ演奏」、矢川商店街での「甘酒サービス」
コース途中「さくらフェスティバル会場」で催物や模擬店が楽しめる、
ゴール周辺での「桜らいいふ」(3ヶ所でおこなわれた)が見学でき、ゴールでは
「お楽しみ抽選会」などを行い工夫した。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

当日は夕方の雨が降ったが、さくらが満開、花吹雪の中のウォーキング
参加者は1,008名、事故もなく成功裏のうちに終了することが出来た。
参加者の内訳をみると50名以上が70%を占めシニア層の参加が目立ち
地域別には、国立・立川の住民が約40%。それ以外の地域住民が60%
で、このイベントは夕陽地域全体イベントとしてとらえることが出来る。
この模様はマイテレビ、デイリーニュースでもとりあげられた。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

2014 春うらら:国立・立川さくらウォーキングの参加者集計表

	国立発コース	立川発コース	総 計
男性	246 名	182 名	428 名
女性	349 名	231 名	580 名
計	595 名	413 名	1,008 名
年齢別			
0～10	37 名	15 名	52 名
11～20	14 名	12 名	26 名
21～40	61 名	38 名	99 名
41～50	73 名	48 名	121 名
51～60	118 名	93 名	211 名
61～70	169 名	129 名	298 名
71～	123 名	78 名	201 名
計	595 名	413 名	1,008 名
地区別			
国立市	169 名	35 名	204 名
立川市	82 名	128 名	210 名
国分寺市	72 名	11 名	83 名
八王子市	31 名	42 名	73 名
日野市	24 名	36 名	60 名
昭島市	31 名	22 名	53 名
東大和市	16 名	23 名	39 名
府中市	23 名	11 名	34 名
都下	19 名	42 名	61 名
都内	23 名	15 名	38 名
埼玉県	22 名	11 名	33 名
小平市	28 名	7 名	35 名
東村山市	14 名	5 名	19 名
その他	41 名	25 名	66 名
	<その他の内訳> 神奈川県・千葉県・多摩市 武蔵野市・調布市・稲城 市 など	<都下の内訳> 青梅市・あきる野市・ 清瀬市・瑞穂町・福生市 武蔵村山市など	

春うらら：国立・立川さくらウォーキング 企画書

1、事業名

「春うらら：国立・立川さくらウォーキング」

～桜らいぶ同時開催～

2、目的

国立市観光まちづくり協会は本年も立川観光協会との共同事業にて「さくらウォーク・イベント」を、開催いたします。国立発と立川発の2コースを設定いたしました。特に、国立の魅力の一つでもある見事な桜を愛でながら、ゆっくりと散策していただくとともに、「国立のおもてなし」をより加味し、参加者に楽しんでいただけるような内容とし、ウォーク終了後も、大学通りにて開催されている「桜らいぶ」も見学できるコースといたしました。また、同時に、会員企業を中心とした経済効果も考えて実施いたします。

3、実施日

日時 平成26年4月6日(日) 午前10時～午後3時

受付時間10時～11時(受付後 随時出発)

到着地終了時間午後3時

参加予定人員 2,000～2,500名

受付場所 <国立発コース>一橋大正門前(10:00～11:00・受付)

<立川発コース>立川公園(柴崎体育館前)10:00～11:00・受付)

ゴール 両コースとも 一橋大正門前 最終15時終了

<国立発コース> 一橋大正門前(スタート10時から)——大学通り東ルート——谷保駅前——谷保天満宮——城山公園・竹林の道——古民家(フルーツ演奏)——郷土館——矢川メルカード商店会(甘酒のサービス)——さくら通り——谷保第三公園(さくらフェスティバル)——大学通り西ルート——一橋大正門(最終ゴール15:00まで) (約7.5Km 2～3時間)

<立川発コース> 立川公園(モノレール柴崎体育館駅前)(スタート10時から)——根川緑道——貝殻坂橋——青柳稻荷神社——ママ下湧水——郷土館——以降：国立発コースと同じ(約9Km 2～3時間)

参加料 無料 スタート地点においてマップ&ゼッケンの配布(参加者は氏名・住所・年齢を記入のうえゼッケン受け取り)

完歩賞 ゴールにてゼッケンと引き換えに「ドリンク」プレゼント(ドリンクは企業よりの協賛品 1,300本用意済)

<国立のおもてなし> ・古民家にて「フルーツ演奏」(東京シティフィル団友 海治洋一氏)・矢川メルカード商店会にて「甘酒又はソフトドリンク」のサービス。

- ・ゴール地点での抽選会(ゼッケン番号にて当たる)
(賞品例:くにニャングッズ、立川名産品など)

4、主催・共催・後援

- 主催 国立市観光まちづくり協会 立川観光協会
- 後援 国立市・立川市・国立市商工会・立川商工会議所・くにたち文化・スポーツ振興財団・国立市商業協同組合・国立商工振興(株)・JR 東日本八王子支社・多摩都市モノレール(株)・桜らいぶ実行委員会・くにたちさくらフェスティバル実行委員会・立川バス・立川市自治会連合会(社)立川青年会議所・くにたち桜守
- 協 賛 多摩信用金庫・真如苑・(株)一如社・オリオン書房・セキヤ
- 賞品提供 ヤクルト本社(500本)・第一三共(300本)ダイドービバレッジ(500本)やしの木(15点)

5、告知方法

- 新聞各社へのニュースリリース・市報・国立市観光まちづくり協会、及び立川観光協会のホームページ・国立歩記・たましん情報誌・ポスター掲示等
- 事前PR場所として公共機関・多摩信各支店・JR近隣駅・市内掲示板会員企業等に協力を依頼しチラシを配布、JR駅からハイクにて配布

・6、予算書

<支出予定の費用概算>

- * 印刷代 ポスター 200枚、チラシ 10,000枚、(国立5,000枚、立川5,000枚) 当日配布用マップ2,500枚 約300,000円
- * ボランティアへの謝礼 @3,000円 X 30名 = 90,000円
- * ボランティア、スタッフ用昼食 @500円 X 60名 = 30,000円
- * 甘酒サービス @50円 X 1,000名 = 50,000円(予定)
- * 警備員 3名配置 @13,500円 X 3名 + 3,000円 = 43,500円
- * イベント保険 @26円 X 2,000名 = 52,000円
- * 雑費 及び テント設営 約 54,500円
- * 桜らいぶ協賛金 30,000円

合計 650,000円